




ねらい

- 子どもが新しいことに挑戦しようとしたとき、親としてどのように接すればよいか、交流し合う中で、そのヒントをもち帰ってもらいましょう。
- 目の前でできないお子さんを見ると、つい手を出してしまったり、挑戦したことを否定してしまったりしがちですが、できてもできなくても親の言葉や態度が大切であることに気づいていただきましょう。

時間	内容	主な活動	留意点
例： 60分 00:10	はじめのことば 3つの約束確認 アイスブレイク	<p>「みなさん、こんにちは。ご多用のところ参加いただきありがとうございます。今日は、お子さんが新しいことへ挑戦する時の親の接し方について、一緒に考えてみたいと思います。司会の〇〇です。よろしくお願ひします。」</p> <p>「この会は、ともに楽しく学び合い、みなさんで作り上げていくものです。誰もが『参加してよかった。』と思える会にするために、協力していただきたい3つの約束があります。」</p> <p>① 参加 「積極的に話し合いに参加しましょう。全員が参加できるように、協力をお願いします。」</p> <p>② 尊重 「お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。他の参加者の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないようにしましょう。話したくないことは、パスしてもかまいません。」</p> <p>③ 守秘 「子育ての交流ですから、個人情報に関わる内容も出てきます。同じ時間を共有する者同士の信頼関係のうえで行われる交流です。決して口外しないようにしましょう。」</p> <p>「それでは、みなさん、少し緊張していらっしゃるようですので、心と体をほぐしリラックスしましょう。」</p> <p>両方勝ってグーチョキパー 「両手同時にジャンケンをします。両方も勝った場合のみ勝ちとなります。『両手でジャンケン、グーチョキパー、ポン。』のかけ声で行い、ポンの時にジャンケンを出します。次々にペアを替えて、最後に勝ちの多い人がチャンピオンになります。」</p>	<p>◇笑顔で親しみやすい言動に努めましょう。</p> <p>小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があるとやわらかい雰囲気演出し、話も弾みやすくなります。</p>  <p>◇会を成功させるために、学習を始める前に参加者全員で「3つの約束」を確認しましょう。</p> <p>◇一人が話し過ぎないように、時間配分を考えながら、全員に話す機会を回すようにしましょう。</p> <p>◇「相手の目を見てうなずきながら聞くとか、相槌を打ちながら聞くなどすると、話す人も嬉しいですね。」と具体的な聞き方を伝えると分かりやすいでしょう。</p> <p>◇子育て中の親として、家族に関わることも話題になりますが、自由に話してもらうためにも、信頼関係が大切であることを理解してもらいましょう。</p> <p>◇アイスブレイクとは、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その氷（不安や緊張）を溶かすという意味をもった活動です。</p> <p>◇15ページ「7 アイズブレイクに活用できる簡単なゲーム」 ⑭参照</p>  
00:40	ワークショップ	<p>「それでは、緊張もほぐれたところで、お配りしたプリントの『こんなことはありませんか』をそれぞれお読みください。」</p> <p>「読み終わりましたら、お子さんが挑戦していることをワークシートに書き留めてください。」</p>	<p>◇「こんなことはありませんか」については、詳細な説明はせずに、読んでいただくことよいでしよう。</p>

		<p>グループディスカッション</p> <p><ワーク1> 「みなさん、これも挑戦です！どなたからでも結構ですので、お子さんが挑戦していることやその様子をお話して下さい。」</p> <p>・幼稚園で習ってきた指編み。 ・お兄ちゃんと一緒に一輪車。 ・サッカーを習い始めた。 など</p> <p><ワーク2> 「日頃、お子さんが何かに挑戦したときに、かけた言葉や行動でうまくいったこと、いかなかったことを交流しましょう。」</p> <p>・何回も練習したからできたんだね。 ・親子で競争して取り組んだ。 ・だから、危ないって言ったんだよ。 など</p> <p>「資料編に、家庭で取り組めるワークシートがあります。家族みんなでそれぞれめあてを決めて、取り組んでみてはいかがですか？できた時に、シールを貼ったり色を塗ったりするなどして、楽しく取り組めるとよいですね。」</p>	<p>◇どんな話が出されているか、簡単にメモをとるとよいですね。</p> <p>◇グループの司会・進行役も、テーマに合わせて挑戦してもらえるとよいですね。</p> <p>◇グループごとに交流する際、「自分にもできそう。」「よい方法だなあ。」などと思った意見は、ワークシートの「いいね！」の欄にメモを取るとよいことを、事前に伝えておきましょう。</p> <p>◇資料のページから活用できるものがあれば、それを基に話すのもよいでしょう。</p> <p>◇在宅取組カード：135ページ「かぞくでチャレンジ」カード参照。</p>
<p>00:10</p>	<p>ふりかえり</p> <p>おわりのことば</p>	<p>「私は、実は、子どもが挑戦したときに、うまく言葉がかけてあげられなくて、やる気をなくしてしまったことがありました。こうしたカードを使って、家族みんなで見守り合ってがんばろうと思いました。」</p> <p>「みなさん、今日参加されていかがでしたか。毎日、お子さんを目の前にして奮闘していらっしゃる皆様方にとって、少しでも気持ちが軽くなったり、何かヒントを得たりしていただけたならうれしいです。お話を伺っていて、本当にみなさんいろいろ工夫していらっしゃるなあと思いました。これからも、お困りのことがあれば、一人で悩まずに、このような機会を活用し、お互いに相談できるとよいですね。」</p>	<p>◇出された意見をまとめたり、結論を出したりする必要はありません。自分自身、こんなヒントをもらったというように、同じ立場で話すとよいでしょう。</p> <p>◇最後は、参加者の日頃のがんばりを認めることのみとし、指示やアドバイスをすることは避けましょう。</p>